

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	一般小売店〔土産〕（営業部長）	・入域観光客が増加しており、国内の賃上げや円安により観光消費額も伸びている。今後も、現状が続くとみている。
	◎	コンビニ（経営企画担当）	・7月には大型レジャー施設の開業を控えており、国内の首都圏では宿泊費が高騰していることから、国内外からの観光客増加に期待している。
	◎	その他専門店〔書籍〕（部長）	・夏に向けて観光客が増える時期であり、大型レジャー施設開業の後押しにより、前年以上の観光客が予想されることから、関連する業態が伸びるとみている。
	○	商店街（代表者）	・空き店舗が飲食店になることが多く、物販の出店はないが、集客としては、良い影響が出てきているため、期待している。
	○	百貨店（経営担当）	・ゴールデンウィークによる地元客と観光客の増加により、販売点数及び来客数の増加が見込まれる。
	○	スーパー（企画担当）	・2～3か月先は、ガソリン価格の引下げや大型レジャー施設の開業を迎えることから、やや良くなるとみられる。
	○	コンビニ（経営者）	・観光客と近隣の高齢者の来客数が増加していることから、やや良くなるとみている。
	○	乗用車販売店（経理担当）	・米国向け商材が国内市場に投入され、販売量が増える可能性があるかとみている。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・新型車の投入によって、状況が好転することを期待している。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・夏になるため多くの来客を期待している。
	○	通信会社（営業担当）	・減税などの政策により、可処分所得が増えることで国内経済も良くなるとみている。
	□	一般小売店〔酒〕（店長）	・備蓄米もまだ国民に行き届いていないことから、変わらないとみている。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は、季節の変わり目で新規需要に少し期待していたが、まだ客には購買意欲がなく、景気も悪い状態が続いている。
	□	衣料品専門店（経営者）	・現在の不安定な社会情勢では先が見通せない状況である。円高になることで今よりも海外からの仕入れが良くなると期待している。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・売上が増加する状況ではないため、前年度とほぼ同水準になるとみている。
	□	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は、ほぼ前年並みで推移している。販売に大きな変化がないため、横ばいになると見込んでいる。
	□	住宅販売会社（役員）	・住宅ローンの金利動向にも左右されるが、新築物件の完成在庫も減少しており、需給バランスが保たれるとみている。
	▲	一般レストラン（代表者）	・梅雨入りの影響で、来客数が減少するとみている。
	▲	観光型ホテル（企画担当）	・4月の販売室数が前年比26%増加なのに対し、4月末時点での7月の予約室数は前年比19%増加で、プラス幅が小さくなっている。
	▲	住宅販売会社（営業担当）	・客の購買意欲が更なる物価上昇を受け入れられるのか、見通しが不透明である。また、住宅ローンを含めた金利上昇も懸念されることから、住宅取得の大きな障害になるとみている。
企業 動向 関連 (沖縄)	×	家電量販店（営業担当）	・前年6月から沖縄県が実施していたキャンペーンの反動により対象商品であったエアコン、冷蔵庫の売上が減少するとみている。
	×	その他飲食店〔バー〕（経営者）	・今後も良くなる要因が見当たらない。
	◎	－	－
	○	食料品製造業（役員）	・夏のトップシーズンに向けて観光客の増加が見込まれるため、食材の売上が好調に推移するとみている。
	○	窯業土石業（取締役）	・公共工事の開始により、製造も繁忙傾向にあり3か月後は売上の回復を期待している。

	○	建設業（経営者）	・ 資材高騰などにより、住宅着工は余り伸びないが、ある程度の建築需要は確保できるとみている。特にマンションの建築戸数は、他府県よりも維持できるとみている。一方、価格転嫁をどこまでできるか注視する必要がある。
	○	輸送業（総務経理担当）	・ 料金改定等を行い、売上が増加するとみている。
	□	広告代理店（営業担当）	・ 県内企業の販売促進活動は、資材コストの上昇などの影響から、やや消極的であるとみている。
	□	会計事務所（所長）	・ 国内情勢よりも米国や中国の海外動向の影響を敏感に受けるとみている。
	▲	—	—
	×	—	—
	◎	—	—
雇用 関連 (沖縄)	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・ 2027年卒向けのインターンシップ案内の増加が見込まれる。
	□	人材派遣会社（総務担当）	・ 求人の平均賃金も上昇しているが、マッチングにつながらない。
	□	求人情報誌製作会社（営業）	・ 3か月後の7月の求人数は、現在と同水準になる見込みである。飲食やホテル業界のニーズは堅調に推移するとみている。観光客の増加によってコンビニ、小売、流通、接客業などでもニーズが高まるとみている。
	▲	学校〔大学〕（就職支援担当）	・ 物価高騰に加えて関税政策の報道があるなど、将来の見通しが期待できない。
	×	—	—